資料3

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）の検討経緯等について

令和8年11月6日

国土交通省鉄道局

全国の新幹線鉄道網の現状

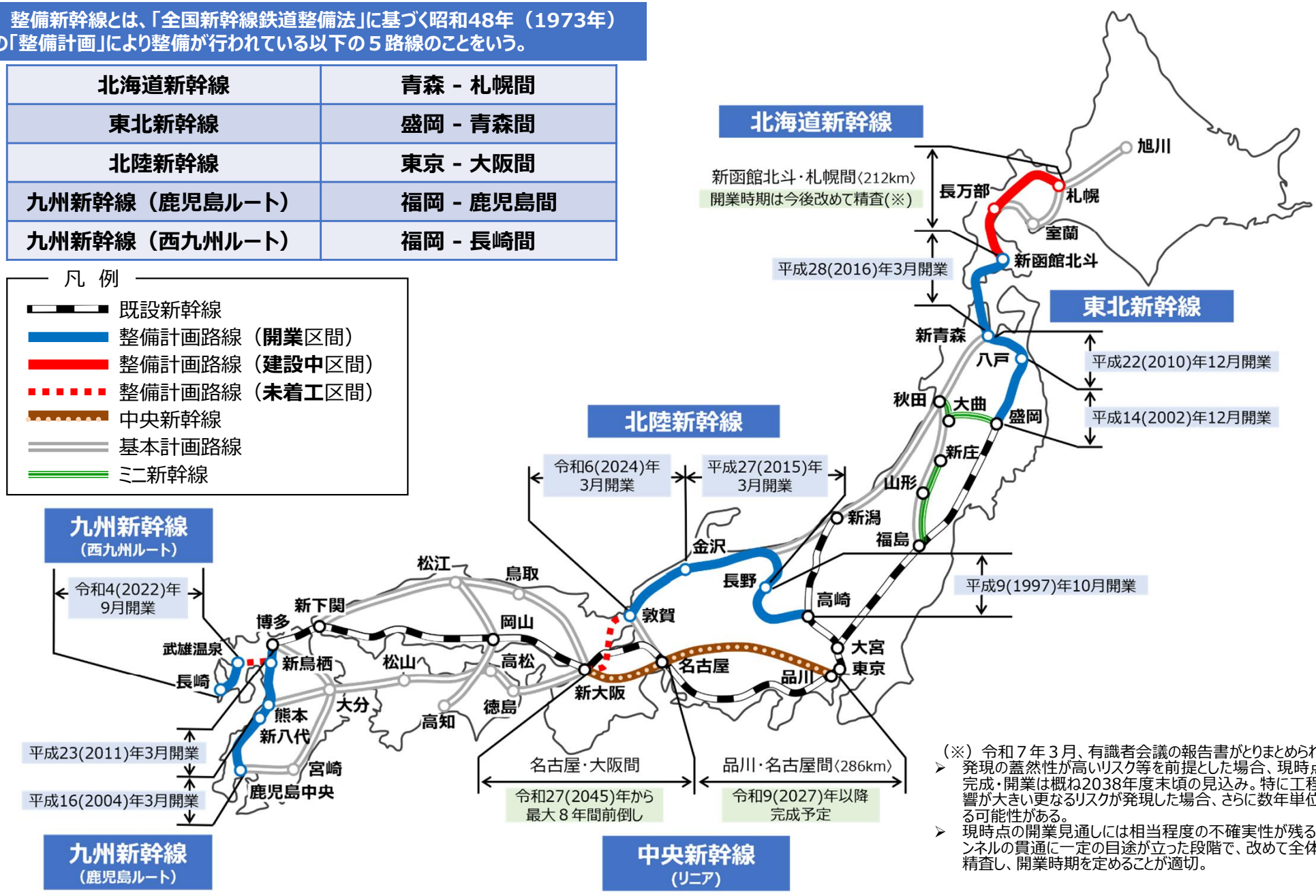
国土交通省

○ 我が国では、昭和39年（1964年）の東海道新幹線の開業以来、順次新幹線ネットワークが構築されてきている。

○ 全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和48年（1973年）に整備計画が決定された５路線を、「整備新幹線」という。

整備新幹線とは、「全国新幹線鉄道整備法」に基づく昭和48年（1973年）の「整備計画」により整備が行われている以下の５路線のことをいう。

北海道新幹線	**青森 - 札幌間**
東北新幹線	**盛岡 - 青森間**
北陸新幹線	**東京 - 大阪間**
九州新幹線（鹿児島ルート）	**福岡 - 鹿児島間**
九州新幹線（西九州ルート）	**福岡 - 長崎間**



（※）令和７年３月、有識者会議の報告書がとりまとめられた。

- 発現の蓋然性が高いリスク等を前提とした場合、現時点では、完成・開業は概ね2038年度末頃の見込み。特に工程への影響が大きい更なるリスクが発現した場合、さらに数年単位で遅れる可能性がある。
- 現時点の開業見通しには相当程度の不確実性が残るため、トンネルの貫通に一定の目途が立った段階で、改めて全体工程を精査し、開業時期を定めることが適切。

整備新幹線の概要

国土交通省

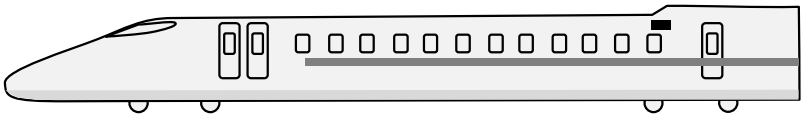
○ 「全国新幹線鉄道整備法」に基づく昭和48年（1973年）の「整備計画」により整備が行われている以下の５路線。

北海道新幹線	東北新幹線	北陸新幹線	九州新幹線（鹿児島ルート）	九州新幹線（西九州ルート）
青森－札幌間	盛岡－青森間	東京－大阪間	福岡－鹿児島間	福岡－長崎間

【 整備方式 】

JR

（新幹線の運行）



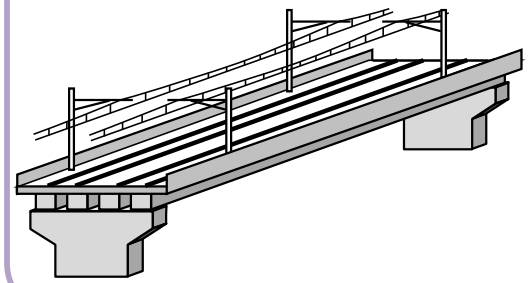
＜上下分離＞

施設の貸付

貸付料の支払（受益の範囲）

鉄道・運輸機構

（施設の建設・保有）



＜公共事業方式＞

国及び地方

建設費の負担
国 2/3
地方 1/3
※貸付料除く

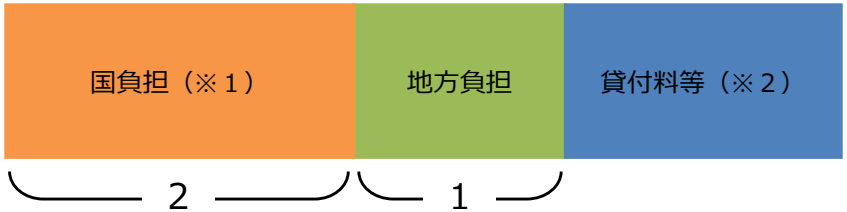
○着工５条件の確認

整備新幹線の着工に際しては、以下の条件を確認することとされている。

①安定的な財源見通しの確保　②収支採算性
③投資効果　④JRの同意
⑤並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

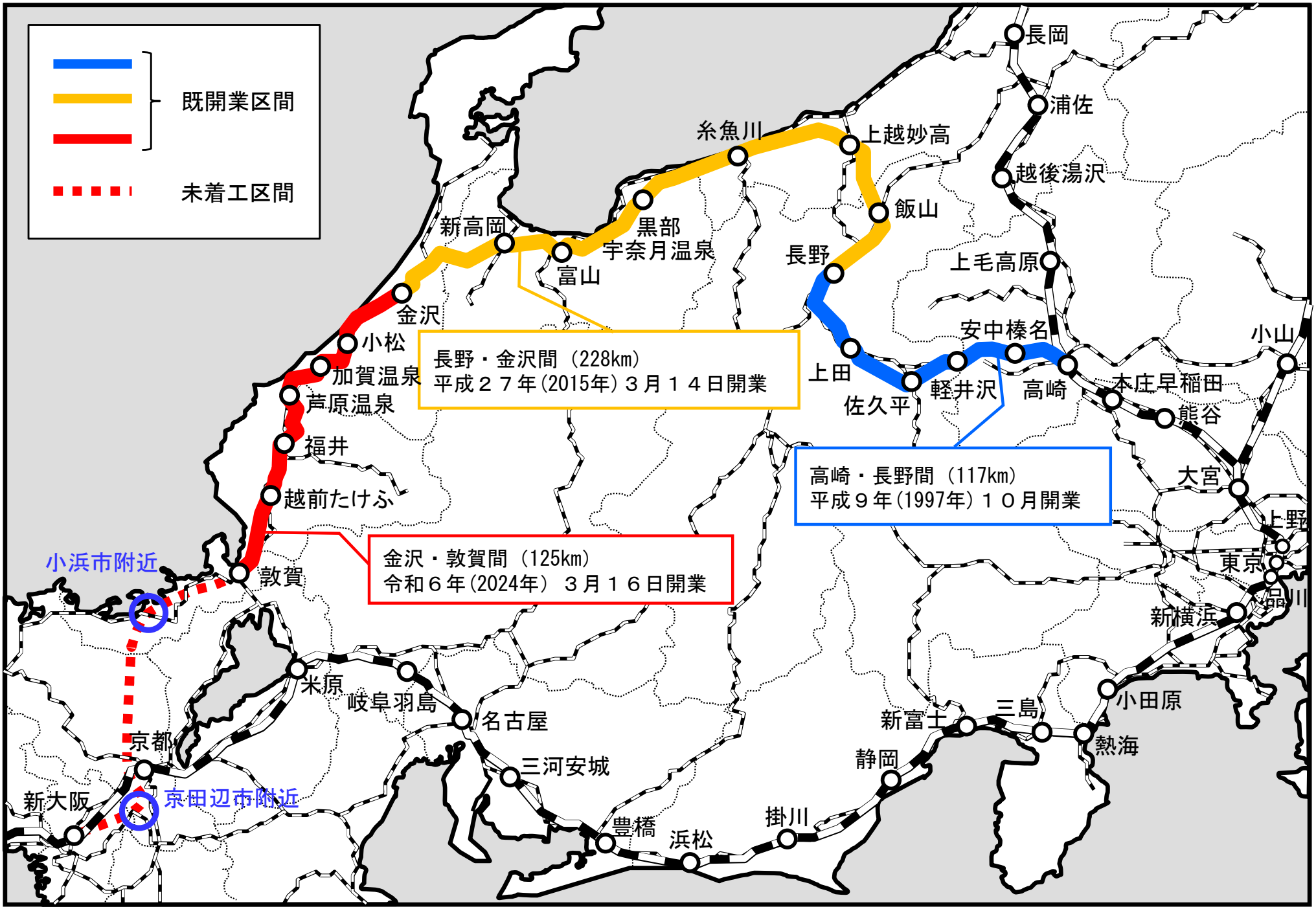
財源スキーム

全国新幹線鉄道整備法等の**法令により**、整備費については、**貸付料等を除いた額について、国と地方で２：１で負担する**こととされており、**具体的には、着工５条件の議論の中で検討**される。



※１　国負担には公共事業関係費及び既設新幹線譲渡収入を含む。
※２　貸付料等には前倒し活用の借入金を含む。

北陸新幹線の概況


既開業区間
未着工区間
長野・金沢間（228km）
平成２７年(2015年)３月１４日開業
高崎・長野間（117km）
平成９年(1997年)１０月開業
金沢・敦賀間（125km）
令和６年(2024年) ３月１６日開業
小浜市附近
京田辺市附近
長岡
浦佐
糸魚川
上越妙高
越後湯沢
飯山
新高岡
黒部
宇奈月温泉
富山
長野
上毛高原
金沢
小松
加賀温泉
芦原温泉
福井
越前たけふ
敦賀
安中榛名
小山
上田
佐久平
軽井沢
高崎
本庄早稲田
熊谷
大宮
上野
東京
品川
新横浜
米原
岐阜羽島
名古屋
三河安城
京都
新大阪
豊橋
浜松
掛川
静岡
新富士
三島
小田原
熱海

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）のルート検討経緯

国土交通省

○昭和47年(1972年)７月　基本計画を決定

○昭和48年(1973年)10月　法定調査報告書のとりまとめ

Aルート（米原町付近経由）、Bルート（小浜市附近経由）の２ルートからBルートを選定

○昭和48年(1973年)11月　整備計画決定（主要な経過地「小浜市附近」追加）

○平成27年(2015年)８月　与党PTの下に北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会を設置

５ルート案を検討

①小浜京都ルート　②小浜ルート　③米原ルート
④湖西ルート　⑤小浜舞鶴京都関空ルート

・関係自治体、ＪＲ西日本、ＪＲ東海、北陸経済連合会、関西経済連合会、関西広域連合、有識者と意見交換。

○平成28年 (2016年)４月　北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会　中間とりまとめ

以降、**３ルート案について調査検討を行っていく**こととされた

敦賀－京都間の３ルート案を検討

①小浜・舞鶴・京都ルート　②小浜・京都ルート　③米原ルート

・３ルート案について国交省より調査結果を報告。
・関係自治体、ＪＲ西日本と意見交換。

○平成28年(2016年)12月　北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会　与党ＰＴへの中間報告

３ルート案のうち、**北陸と関西の間の移動の速達性、利用者の利便性等を総合的に勘案し、小浜京都ルートが適切**であるとされるとともに、以降、**京都・大阪間については２ルート案を引き続き検討**することとされた

京都－新大阪間の２ルート案を検討

①北回りルート　②南回りルート（学研→松井山手経由）

・２ルート案について国交省より調査結果を報告。
・関係自治体、ＪＲ西日本と意見交換。

○平成29年(2017年)３月　北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会　与党ＰＴへの最終報告

２ルート案のうち、**既存の鉄道ネットワークとの接続、地域開発の潜在力等の観点で有望であることから、京田辺市（松井山手）付近を通る南回りルートと決定**された

○令和６年(2024年)８月　北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会にて詳細な駅位置・ルートの案を提示

京都市内の３ルート案を検討

①東西案　②南北案　③桂川案

・詳細な駅位置・ルート案について国交省より調査結果を報告。
・関係自治体、JR西日本と意見交換。

○令和６年(2024年)12月　北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会　与党ＰＴへの中間報告

京都市内の駅位置・ルートについては、南北案、桂川案のいずれかとすることが適切とされた

○令和７年(2025年)12月　北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会（自民・維新）

日本維新の会提案の**８ルート案について再検証を行っていく**こととされた。

８ルート案を再検証

①小浜・京都ルート（南北案・桂川案）　②亀岡ルート　③米原ルート（一部直通）
④米原ルート（乗り換え）　⑤湖西ルート（新設）　⑥湖西ルート（改軌）
⑦舞鶴ルート（京都経由）　⑧舞鶴ルート（亀岡経由）

・関係自治体、ＪＲ西日本、ＪＲ東海、北陸経済連合会、関西経済連合会よりヒアリング。
・国土交通省から８ルート案のB/C等を提示。

○令和８年(2026年)７月　北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会　とりまとめ

「小浜・京都ルートの桂川案」を**着工５条件の充足を図るルート案**として提示